

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

日南町の子ども教育はどう在るべきか



社会の変化に伴って、子どもを取り巻く環境や教育内容も大きく変わってきました。こうした変化の中で、

日南町の子ども教育を見直すことを目的に、町長からの諮問があり、「日南町の子ども教育在り方検討会」を開催することとなりました。検討会には学識経験者、地域代表、保護者代表等、15名の委員にご参加いただき、大変熱心に議論が行われました。また、5回の検討会は町民の皆さんにも公開しましたので、毎回、傍聴していただいた方もありました。

1月22日（金）には、在り方検討会の委員長である矢部敏昭教授（鳥取大学地域学部）から中村町長に答申が伝達されました。また、2月27日（土）には、日南町役場交流ホールを会場にシンポジウムを開催し、教育関係者や町民の皆さんに向けて、委員の皆さんから以下の内容について説明等をしていただきました。

- (1) 答申の概要について
- (2) オール日南の協働的教育環境について
- (3) 保・小・中一貫教育システムの在り方について
- (4) 「ふるさと」日南を創る0歳からのカリキュラムの在り方について
- (5) 答申内容の実現と課題について

答申には、多くの町民の皆さんに関わっていただきながら、日南町全体で子どもを育てていくことの重要性も示されています。今後は、答申に示された教育の姿を実現するために、具体的な行動計画を作成し、実行していくこととなります。子どもの教育に対して、ぜひご支援・ご協力をお願いいたします。

答申は日南町教育委員会のホームページでご覧いただくことができます。また、シンポジウムの様子はYouTube上で公開していますので、ぜひご覧下さい。

<日南町の子ども教育在り方検討会シンポジウムの動画>

<https://youtu.be/TkqCIHZoswg>



地域コーディネーターだより

1月に4年生以上の児童が大山でスキー教室を行いました。午前と午後では見違えるほど上達しました。ぜひ、保護者の皆様にも参観していただきたかったなあと思いました。自分の子どもの上達ぶりを目の前で見ると、「我が子もやるもんだな」と感心するはずです。旧小学校8校あった時代は、保護者の行事参加は当たり前で「あなたの子どもは上手くなったな」と盛り上がりました。当然慰労会もありましたので、今後の学校教育について色々話し合ったものです。統合して一つの小学校になった今、この学校をすばらしくしていくには、保護者同士、先生方とのコミュニケーションが必要です。運動会、校外体験学習、子どもの成長が見られる場面は沢山あります。学校への不安や不満なことで意見もよく耳にするようになりましたが、逆のことを言うとそれだけ教育に熱心だということ。保護者の皆様、学校行事に積極的に参加しましょう。学校を良くするのも悪くするのも保護者の支えにかかっています。一連托生です。

コミュニティ・スクール制度導入に向けて、住民の理解を得るため、講演会や意見交換会等様々な取り組みを計画しています。これからの1年間でどうやって導入できるか？との声を聞くこともあります。意見を聞き、熟議をしてこの制度が必要と思っただけのようにさらに皆さんに声をかけていきます。「オールにちなん」です。

クイズ 四字熟語編 (本文にも取り入れました)

「前に学んだことや、昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして、新たな知識などを自分のものとする」という意味の四字熟語は何でしょう。私はこの熟語が好きで、日々の生活の中でも取り入れています。

- ①温故知新 ②自業自得 ③一期一会



※前号の答え ②70m級ジャンプ

連絡先 教育委員会 82-1118 コーディネーター 荒金 敏文 携帯 080-5232-7712

